

『市役所新庁舎』

設計がまとまりました!!

新庁舎設計コンセプト

高萩コンパクトスタイル
- Takahagi Compact Style -



問合せ

財政課
☎23-2113

昭和33年に建設され52年間市民に利用されてきた市役所旧本庁舎は、平成23年3月の東日本大震災の影響を受け、倒壊する恐れがあるとして使用することができなくなりました。市役所の業務は、リーベロたかはぎ及び総合福祉センターを仮庁舎として応急的に再開され、その後、平成24年10月からは、応急仮設庁舎として建設された現在のプレハブ庁舎へ業務移転。旧庁舎建屋も解体されました。

これまで、新たな本庁舎建設に向け、場所の選定など調査・検討を進め、平成27年8月に基本・実施設計がまとまり、平成27年9月の議会定例会では、建設工事関係予算について議決されたところです。

今後、新庁舎の建設が進められてまいります。今月号では計画の概要を、市民の皆様にお知らせいたします。

なお、新庁舎の完成予想模型(縮尺1/100)を総合福祉センター1階に展示しています。来庁の際はぜひお立ち寄り頂いてご覧になってください。

これまでの経過

■平成23年3月11日

東日本大震災発生により旧庁舎が被災
(発生直後より旧庁舎建物は使用できず)

■平成23年3月下旬

リーベロたかはぎ及び総合福祉センターを仮庁舎として各種業務を再開

■平成23年6月

市役所内部に「高萩市庁舎のあり方検討委員会」、市議会に「震災復興等対策特別委員会」を設置

■平成24年10月

旧本庁舎で行っていた各種業務を、仮設庁舎へ機能移転

■平成24年12月

本庁舎再建基本構想、基本計画策定の取組みを開始

■平成25年10月

本庁舎再建計画(基本構想、基本計画)を策定

■平成26年3月

本庁舎再建(災害復旧)工事の基本設計・実施設計の業務開始

■平成27年9月

新庁舎建設に関する予算の議決

建設工事は、今後、契約に関する市議会の議決を得た後に始まります。工事が順調に進めば平成29年7月に新庁舎が完成予定です。

工事の状況は、市報やホームページなどにより、随時市民の皆様にお知らせいたします。

高萩コンパクトスタイル - Takahagi Compact Style -

～庁舎としての高い機能性と「高萩らしさ」を追求。震災復興から「げんき! 高萩づくり」に向けて～

外観コンセプト

高萩市本庁舎としての「アイデンティティ(シンボル性)」を創出
街並みや市民に向けた広場や小路などの「交流空間」を創出

無駄のない庁舎

- シンプルなデザイン
- 効率的、合理的な計画
- 生涯コストの縮減

平面コンセプト

明るく開放的で案内性の高い「市民窓口ゾーン」の創出
機能的で融通性の高いシンプルな「行政執行エリア」の形成
独立性を確保した「議場エリア」の創出

持続性の高い庁舎

- 機能性と利便性の持続
- 将来変化への融通性
- 長寿命かつ高い環境性能

高萩 コンパクト スタイル

人が集まる庁舎

- 賑わいと交流の創出
- 地域コミュニティの活性化
- 誰もが利用しやすい

完成予想模型



建物南側(正面)



東側

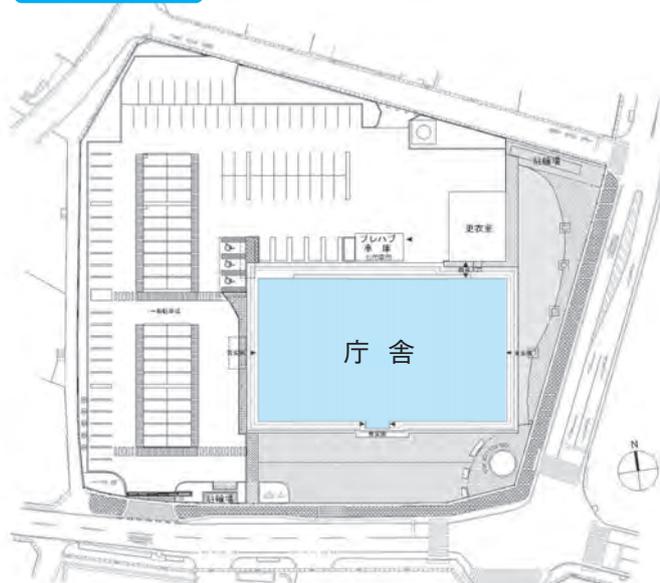


北側



西側

建物配置図



建物概要

敷地面積 8,535.37㎡
 建築面積 1,746.14㎡
 延床面積 6,016.66㎡
 構造 鉄筋コンクリート造(免震構造)4階建て
 事業費(予算) 31億4,550万円
 • 本庁舎建設 28億8,700万円
 • 外構・付帯施設等 2億5,850万円
 工事期間(予定) 平成28年1月から平成29年7月

【配置予定】

- 4階 議会エリア、会議室、展望ロビー等
- 3階 秘書課、企画広報課、総務課、財政課、危機対策課等
- 2階 環境衛生課、農林課、建設課、都市整備課、観光商工課、教育委員会等
- 1階 市民課、税務課、保険医療課、子育て支援課、社会福祉課、水道課、会計課等